

ヒメエダミドリイシ移植作業報告書

2015年10月20日（火曜日）

AM 9 : 00～AM 11 : 00

有限会社 COCOMO

採取箇所 1 (江梨港内)



水深 2~3m 付近に小規模だが点在している

死滅箇所 1 (来海)



水深 4~5m 付近のサンゴは死滅している

採取箇所 2 (来海)



死滅箇所を過ぎ水深 5~6m 付近で崩れたサンゴを採取

群生箇所（来海）



小規模な群生箇所あり、水深 5~6m 付近



群生箇所（来海）



小規模な群生箇所を過ぎ水深 7~9m 付近、この区域で最大の群生箇所



採取箇所 3、4 (来海～大瀬崎)



水深 5～6m付近に点在している箇所から採取

死滅箇所 2 (来海～大瀬崎)



水深 4～5m付近に死滅箇所あり、水深 5～6 付近に点在箇所あり

採取箇所 5、6 (大瀬崎)

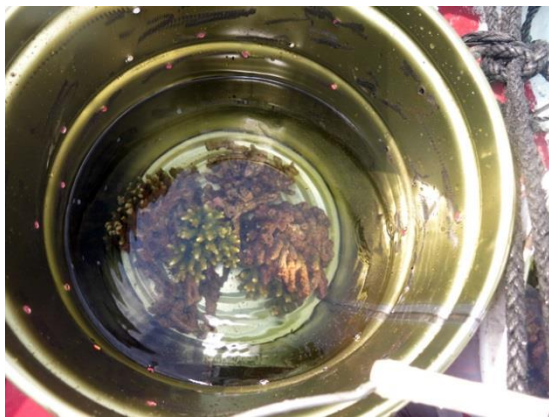
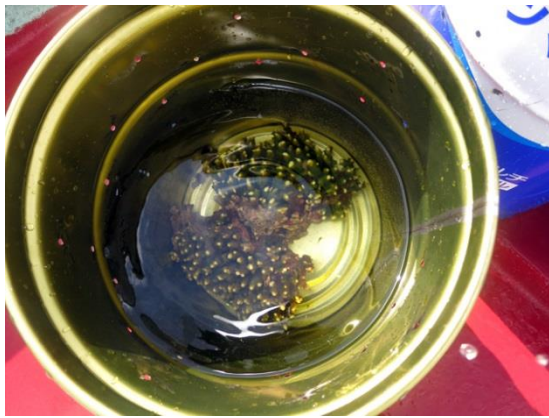
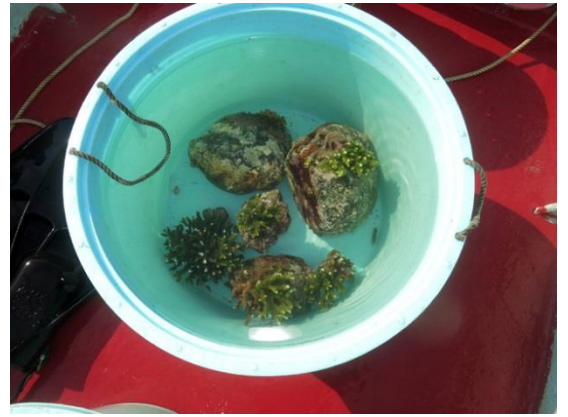
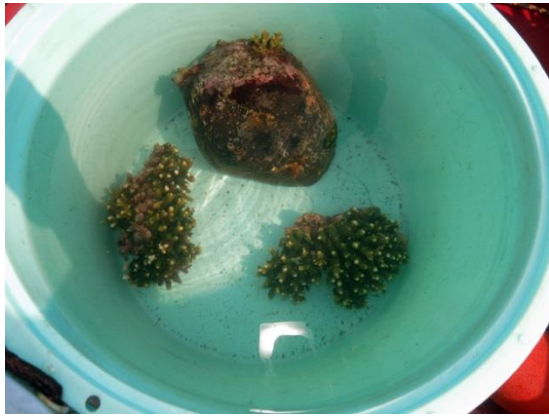


水深 4~5m 付近の点在箇所から採取



水深 5~6m 付近に点在箇所あり

回収したサンゴ



水中で容器に移し極力外気に触れないように移動

移植箇所 1 (大瀬崎 先端)



水深 5~6m付近のゴロタと砂地の境目辺りに固定

移植箇所 2 (大瀬崎 先端)



移植箇所 1 より約 5m左側に固定

江梨港内に点在するサンゴは小規模で水深は浅いが大き目の岩や複数の岩にまたがっているため
今後、採取は困難です

来海の群生場所はやや深く（7～9m）浅場（4～5m）のサンゴは死滅しています
崩れたサンゴも複数あるため死滅する前に早めの採取、移植が必要です

また水深がやや深いためプレジャーボート等の錨泊による被害の可能性も考えられ、水中にはガンガ
ゼも多く駆除も含め今後の対策が必要

来海～大瀬崎の間は大きな群生箇所はなく所々に点在している程度です
調査は小規模のため詳細は不明ですが水深 5～6m付近にしか点在していません

回収容器は出来るだけ間口の広いもので行わないと出し入れ時にサンゴを痛める可能性あり

移植箇所はダイバーの潜水禁止エリアなので人的影響はないかと思われませんが岩で囲み固定しまし
たが傾斜が採取した場所より急なため波やウネリの影響で崩れる可能性もあります
今後も継続的に観察や確認が必要

以上